

アジアパシフィックマリン、女性船員の就労支援

牛山社長「魅力ある職場づくりに傾注」

既報(11日付)のとおり、アジアパシフィックマリンは今年4日、国土交通省海事局が主催する船員安全・労働環境取組「特別賞」を受賞した。これを受け、同社の牛山啓二社長は「内航海運業界では優秀な人財の確保が極めて重要な経営課題であり、日頃から船員の皆さんが働きやすい環境を作ることを中心している。引き続き、やり方については事例を重ねながら改善を加えていき、魅力ある職場づくりに傾注する」とコメントを発出した。

同社では、船員職が体力的・精神的に厳しい環境で、採用育成段階での早期退職があることから、「乗組員の定着率アップ」、「若手船員への海技伝承」に取り組んでいる。今回の受賞は、その一環として同社が「女性船員の採用・就労支援」に向け、各種(パワー・セクシャル・モラル)ハラスメント防止の注意喚起と乗組員の諸問題点未然防止・早期発見が目的の社内ホットラインを設けたことが評価された。



今回表彰された取り組みについて同社は「魅力ある職場づくりのため、ベテランと若手の年齢ギャップや性別の違いによるコミュニケーションやチームワークが希薄にならないように各種ハラスメントの防止のための通知をし、社内ホットラインを設け諸問題点の未然防止・早期発見を目的とし『言える化』に取り組んでいる。今後もよりよいシステムとなるようバージョンアップを図り、当社の企業理念である『あなたも私も笑顔でありたい』を船内融和で実現するよう努力したい」としている。